

商品名 ローブレナ錠25mg 医薬品基本情報

薬効	4291 その他の抗悪性腫瘍用剤	一般名	ロルラチニブ錠
英名	Lorbrena	剤型	錠
薬価	7350.00	規格	25mg 1錠
メーカー	ファイザー	毒劇区分	(劇)

ローブレナ錠25mgの効能・効果

ALK融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

ローブレナ錠25mgの使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、リファンピシン投与中

記載場所	使用上の注意
------	--------

注意レベル	禁止
-------	----

2. 間質性肺疾患又はその既往、QT間隔延長の既往、QT間隔延長又はその恐れ・疑い、重度腎機能障害、 $30\text{mL}/\text{min} > \text{eGFR}$ 、中等度腎機能障害、 $60\text{mL}/\text{min} > \text{eGFR} \geq 30\text{mL}/\text{min}$ 、中等度以上の肝機能障害

記載場所	使用上の注意
------	--------

注意レベル	注意
-------	----

ローブレナ錠25mgの副作用等

1. アミラーゼの増加がGrade2以下で画像検査で膵炎の所見を認める、リパーゼの増加がGrade2以下で画像検査で膵炎の所見を認める、Grade3の膵炎、Grade4の膵炎、Grade1で症候性間質性肺疾患、Grade2の間質性肺疾患、Grade3の間質性肺疾患、Grade4の間質性肺疾患、Grade3のQT間隔延長、Grade4のQT間隔延長、Grade3の左室駆出率低下、Grade4の左室駆出率低下、症候性第1度房室ブロック、無症候性第2度房室ブロック、症候性第2度房室ブロック、完全房室ブロック、Grade1の中樞神経系障害、Grade1の言語障害、Grade1の記憶障害、Grade1の認知障害、Grade1の精神障害、Grade1の気分障害、Grade1の幻覚、Grade1の睡眠障害、Grade1の視覚障害、Grade2の中樞神経系障害、Grade2の言語障害、Grade2の記憶障害、Grade2の認知障害、Grade2の精神障害、Grade2の気分障害、Grade2の幻覚、Grade2の睡眠障害、Grade2の視覚障害、Grade3の中樞神経系障害、Grade3の言語障害、Grade3の記憶障害、Grade3の認知障害、Grade3の精神障害、Grade3の気分障害、Grade3の幻覚、Grade3の睡眠障害、Grade3の視覚障害、Grade4の中樞神経系障害、Grade4の言語障害、Grade4の記憶障害、Grade4の認知障害、Grade4の精神障害、Grade4の気分障害、Grade4の幻覚、Grade4の睡眠障害、Grade4の視覚障害、Grade3の高脂血症、Grade3の総コレステロール増加、Grade3のトリグリセリド増加、Grade4の高脂血症、Grade4の総コレステロール増加、Grade4のトリグリセリド増加、Grade3の高血圧、Grade4の高血圧、Grade3の高血糖、Grade4の高血糖、治療を行っても250mg/dLを超える高血糖が持続、Grade3の非血液学的毒性、Grade4の非血液学的毒性、Grade3のリンパ球減少症、Grade4のリンパ球減少症、Grade3の血液学的毒性、Grade4の血液学的毒性

記載場所	用法・用量
頻度	頻度不明

2. QT間隔延長、認知障害、記憶障害、健忘、注意力障害、言語障害、構語障害、言語緩慢、会話障害、中樞神経系障害、気分障害、易刺激性、うつ病、不安、精神障害、膵炎、ALT上昇、AST上昇、肝機能障害

記載場所	重大な副作用
------	--------

3. 間質性肺疾患、幻覚、幻視、幻聴

記載場所	重大な副作用
頻度	5%未満

4. 末梢性ニューロパチー、感覚鈍麻、筋力低下、浮動性めまい、頭痛、味覚異常、不眠症、失語症、関節痛、筋肉痛、血中クレアチンホスホキナーゼ増加、四肢痛、筋痙攣、筋骨格硬直、不整脈、洞性徐脈、動悸、徐脈、第1度房室ブロック、洞性頻脈、頻脈、心臓障害、駆出率減少、左室機能不全、心嚢液貯留、高血圧、下痢、便秘、悪心、嘔吐、腹部膨満、腹痛、口内炎、鼓腸、血中クレアチニン増加、高コレステロール血症、高トリグリセリド血症、高脂血症、高尿酸血症、高血糖、食欲亢進、脂質異常、低アルブミン血症、低比重リポ蛋白増加、貧血、血小板減少、好中球減少、視覚障害、耳鳴、発疹、脱毛症、発汗、皮膚乾燥、皮膚炎、呼吸困難、浮腫、体重増加、疲労、無力症、顔面浮腫

記載場所	その他の副作用
------	---------

5. QT間隔延長

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

6. 間質性肺疾患、染色体異常、早期胚吸収増加、後期胚吸収増加、着床後死亡増加、胎仔生存率低下、胚死亡率増加、胎仔死亡率増加、胎仔体重減少、奇形、腹壁破裂、脳室拡張、複合奇形、全胎仔死亡、流産、雄性生殖器への影響、精巣重量減少、精巣精細管変性、精巣精細管萎縮、精巣上体管内精子減少

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

ローブレン錠25mgの相互作用

1. 薬剤名等：リファンピシン

発現事象 ALT及びASTが上昇

投与条件 -

理由・原因 -

指示 禁止

2. 薬剤名等：フェニトイン

発現事象 ALT及びASTが上昇

投与条件 -

理由・原因 -

指示 原則禁止

3. 薬剤名等：カルバマゼピン

発現事象 ALT及びASTが上昇

投与条件 -

理由・原因 -

指示 原則禁止

4. 薬剤名等：CYP3A誘導剤

発現事象 本剤の血中濃度が低下し本剤の有効性が減弱

投与条件 -

理由・原因 これらの薬剤がCYP3Aを誘導することにより、本剤の代謝が亢進

指示 原則禁止

5. 薬剤名等：CYP3A阻害剤

発現事象 本剤の血中濃度が上昇し副作用の発現頻度及び重症度が増加

投与条件 -

理由・原因 これらの薬剤がCYP3Aを阻害することにより、本剤の代謝が阻害

指示 注意

6. 薬剤名等：CYP3Aの基質となる薬剤

発現事象 血中濃度が低下し有効性が減弱

投与条件 -

理由・原因 本剤がCYP3Aを誘導することにより、これらの薬剤の代謝が亢進

指示 注意

7. 薬剤名等：P-gpの基質となる薬剤

発現事象 血中濃度が低下し有効性が減弱

投与条件 -

理由・原因 本剤がP-gpを誘導

指示 注意

8. 薬剤名等：QT間隔延長を起こすことが知られている薬剤

発現事象 QT間隔延長作用を増強

投与条件 -

理由・原因 本剤及びこれらの薬剤はいずれもQT間隔を延長

指示 注意

9. 薬剤名等：強いCYP3A誘導剤

発現事象 肝機能検査値上昇、肝細胞壊死、肝細胞空胞化

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.